


# 公立保育園再編に向けた課題の整理 について【保育士から】

健康福祉審議会こども分科会 資料

平成27年11月11日



# 小規模保育園のメリット・デメリット

メリット		デメリット
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 親も子もまとまりのあるグループができる。</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・ グループから外れた場合に孤独につながる。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ ゆっくり落ち着いた取組ができる。</li><li>・ 丁寧な保育ができる。</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 遊びの盛り上がり、まとまりが難しい。</li><li>・ 大勢にもまれる機会が少ない。</li><li>・ 1つのものを話し合い、協働して作りあげる遊びが難しい。</li><li>・ 必要以上に子どもに関わり過ぎる傾向がある。</li><li>・ 様々な保育士と関わる機会が少ない。</li><li>・ 行事の持ち方が難しい。</li><li>・ 保育の視点が、固定的になる。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大きい子は、小さい子の面倒をみて思いやりの心が育ち、小さい子は、大きい子の姿をみて成長する。</li><li>・ 年長児(5歳児)が3・4歳児等のお世話をすることができる。</li></ul>		<ul style="list-style-type: none"><li>・ 同じ発達段階にある子どもたちから刺激を受ける機会が少ない。</li><li>・ 友達との力関係が固定化しやすい。</li><li>・ 年長児中心の遊びとなりがちとなりやすく、3歳児、4歳児の発達段階に応じた経験が難しい。</li></ul>

## 再編にあたっての配慮(1)

- ・ 説明は、祖父母や地域にも行う。
- ・ 保育を通じた子どもの発達過程と支援について、分かりやすく説明する。
- ・ 小学校とのつながりを見据える。
- ・ 保育士の異動先を考慮する。
- ・ 見通しの持てる再編の予定を伝える。
- ・ 支援が必要な子の保護者の意見を反映させる。

## 再編にあたっての配慮(2)

- 保育士間で子どもの状況を共有する。
- 適切な通園手段を確保する。
- 休園後の保育園を有効に活用する。
- 時間、機会を十分確保し、交流保育を行い、
  - ① 集団保育の大切さを知ってもらう。
  - ② 給食を食べ、お昼寝も体験する。
  - ③ 保護者同士の交流の機会を持つ。

# 公立保育園の役割

- 子育ての相談機能を充実する。
- 要保護児童の支援を充実する。
- 障害のある児童の支援を充実する。
- 休日保育を実施する。
- 看護師等の専門職を配置し、個別の配慮を要する子の支援を行う。